

彩の歳時記

平成二十一年 八月

君待つと我が恋ひをれば我が宿のすだれ簾動かし秋の風吹く
額田王【生没年不詳】
「あなたを待っていると、簾を動かし吹いてくる秋の風にも「はっ」とし、心安らぐ暇がないのです」

万葉集の代表的歌人・額田王が天智天皇【626～672】を思つて詠んだ歌。
王は天武天皇【631～686】に嫁ぎ、のちに天智天皇に仕えました。

日差しを避けつつ風を通す「簾」は平安時代の寝殿造では、外に開かれていながらも、外からの侵入を構造的・心理的に拒む屏障具。貴族にとつて「簾」の内世界は、精神的安らぎの空間でした。尊敬語で「御簾(みす)」と呼ばれ「源氏物語」に多く登場し物語の展開を左右します。近年のアジアンブームなどでインテリアとしても人気があります。



八月の異称 葉月はつき 葉の落ちる「葉落月」、初めて雁が来る「初来月」、稲の穂が張る「穂張月」などの意。

八月の暦

一日 八朔(はっさく) 八月朔日(ついたち)の略。徳川家康【1543～1616】が天正十八(1590)年のこの日(旧暦では三十日)江戸城に入城したとされ、幕府はこの日を正月に次ぐ祝日としていた。

六日 広島原爆忌 当時の広島市の人口三十五万人(推定)のうち約十四万人が死亡。二十五万人(原爆症を含む)以上といわれる犠牲者を悼む慰霊祭が原爆ドームで行われ、世界平和を祈念する。今年はおバマ氏が米大統領として初めて「原爆を投下したアメリカの道義的責任について述べたことが話題に。」

七日 立秋りっしゅう(二十四節気) 秋立つ日 暑い日が続くが暦の上では「秋」。
秋立つや一卷の書の読み残し 漱石
九日 長崎原爆忌 長崎市の人口二十四万人(推定)のうち約七万四千人が死亡。天を指す右手は原爆の恐怖、左手は平和を、軽く閉じた目は犠牲者の冥福を祈る記念像は一九五五年建立。



十三日～十六日 旧盆(月遅れのお盆) 七月十五日の「新のお盆」に対して、八月は「旧のお盆」と呼ぶが、ひと月遅れであるだけで旧暦によるものではなく、「月遅れのお盆」が正しい言い方。

十五日 終戦記念日 昭和二十年(1945)のこの日の正午、昭和天皇【1901～1989】はラジオを通じて敗戦を伝える「玉音放送」(ぎょくおんほうそう)を行い、国民はこの時初めて天皇の肉声を聞いた。「玉」(ぎょく)は天子(天皇、皇帝)の身の周りのものを尊称するための接頭辞。
十九日 俳句の日 平成六年に819の語呂合わせで制定。「俳句」は正岡子規が作った造語。

二十日 西鶴忌 浮世草子・人形浄瑠璃作者・俳人・井原西鶴【1642～1693】の忌日。
代表作に「好色一代男」「世間胸算用」「日本永代蔵」など。同時代では人気作者であったが江戸末期には忘れられていたのを明治初期に幸田露伴や尾崎紅葉らに高く評価され、その作品にも影響を与えた。



二十三日 処暑しよしよ(二十四節気)「暑さが止む」の意味。

八月の歌

夏の日の思い出 詞・曲 鈴木道明 編曲 前田憲男

昭和三十八年に全日本ハワイアン大会で優勝した日野てる子【1945-2008】のデビュー曲。甘く透き通った歌声とハワイアン風のマイナーなメロディがマッチして大ヒット、現在でも夏の定番として知られている。この曲はもと

もとは「ワン・レイニーナイト・イン・トーキョー」のB面。
日野は作曲家一ノ瀬義孝との結婚を機に一時期引退、家庭に専念、子育てが一段落し、歌手に復帰したが、昨年、六十三才で逝去した。



きれいな月が海をたらし
ただずむ影は砂にうかび
あなたの熱いくちづけが
つめたい頬に よみがえるの
夏の思い出 恋しくて
ただ一人だけで来てみたのよ
冬の浜べはさみしくて
よせる波だけが
さわいでいた